

平成30年度社会福祉法人白日会事業報告

I 法人本部

1 ガバナンス（組織統治）の整備

社会福祉法人には法人経営の透明性の確保や高い公益性に基づくガバナンス（組織統治）の確立が要請されており、社会的ルールを遵守し、社会に対して十分な説明責任を果たすため、公正かつ適正な経営を可能とするガバナンスの整備の一環として、次の取組を行いました。

- ① 照古苑文書取扱規程を廃止し、照古苑及びたんぼぼ保育園共通の白日会文書取扱規程を制定
- ② 法人本部経理拠点区分にサービス区分として「生計困難者レスキュー事業」を追加
- ③ 契約業務の遅滞防止として、理事長が専決できる随意契約の予定価格の上限を300万円以下に引き上げるために、理事会運営規程を改正
- ④ 福祉人材の育成・確保を目的として、法人の職員以外の学生への修学資金の提供及び法人が連帯保証人になれるようにするため、新たに定款第39条第1項第3号として「社会福祉の増進に資する人材の育成・確保に関する事業」の規定を追加

2 地域における公益的取組

熊本県から平成30年9月、ひとり親家庭等学習支援教室「地域の学習教室」に照古苑が指定を受けました。

3 理事・監事・評議員・その他委員の選任

① 監事の選任

藤田一紀氏が平成31年1月31日をもって辞任されたことに伴い、後任監事に服部法義氏が選任されました。（任期は前任者の残任期間）

② 評議員選任・解任委員会委員の選任

当委員である監事藤田一紀氏の辞任及び事務局員岩田貴史氏の退職に伴い、後任として監事渡邊暲也氏と事務局員山下真司氏が選任されました。

③ 苦情解決第三者委員

平成31年3月31日の任期満了に伴い、現委員である野村敏子氏と吉川満璃子氏が再任されました。

4 社会福祉法人白日会の財産状況

別冊 財産目録及び決算報告書のとおり

5 事業

(1) 地域における公益的取組

- ① 生計困難者レスキュー事業

相談件数：16件

支援件数：13件

支援総額：103,689円、施設所有食材の提供

② 認知症カフェ（通称：ひまわりカフェ）

開催回数：12回（毎月第3木曜日午後2時～午後4時）

利用者数：延べ175人

③ 地域の学習教室

利用する小中学生の希望者がありませんでした。

(2) 監事による監査の実施

日時：平成30年5月25日（金）13:00～

場所：照古苑応接室

(3) 理事会

すべての議案及び報告事項は承認されました。

第1回通常理事会

日時：平成30年6月6日（水曜日）17時45分～

場所：特別養護老人ホーム照古苑会議室

議案

第1号議案 平成29年度社会福祉法人白日会事業報告について

第2号議案 平成29年度社会福祉法人白日会の決算に係る計算書類等の承認について

第3号議案 平成30年度照古苑拠点区分第1次資金収支補正予算について

第4号議案 平成30年度たんぼぼ拠点区分第1次資金収支補正予算について

第5号議案 社会福祉法人白日会役員等に対する報酬等に関する規程の一部改正について

第6号議案 社会福祉法人白日会組織及び事務局規程の一部改正について

第7号議案 照古苑組織規則の一部改正について

第8号議案 照古苑ひまわりホーム宇土市介護予防・日常生活支援総合事業指
定第1号通所事業（通所型サービスA）運営規程の廃止について

第9号議案 たんぼぼ保育園給与等支給規則の一部改正について

第10号議案 定時評議員会の招集等について

報告事項

報告第1号 理事長の職務の執行状況の報告について

報告第2号 理事長専決事項の報告について

報告第3号 照古苑LED照明改修工事に係る契約締結の報告について

報告第4号 照古苑ひまわりホーム介護業務支援システム導入に係る契約締結
の報告について

報告第5号 平成29年度資金運用状況の報告について

第2回通常理事会（決議の省略による）

理事会の決議があったものとみなされた日：平成30年7月18日

議案

第1号議案 照古苑自動車保険に係る契約締結方法等について

第3回通常理事会

日時：平成30年12月4日（火曜日）17時45分～

場所：特別養護老人ホーム照古苑会議室

議案

第1号議案 社会福祉法人白日会経理規程の一部改正について

第2号議案 社会福祉法人白日会理事会運営規程の一部改正について

第3号議案 社会福祉法人白日会評議員会運営規程の一部改正について

第4号議案 社会福祉法人白日会文書取扱規程の制定について

第5号議案 照古苑組織規則の一部改正について

第6号議案 照古苑就業規則の一部改正について

第7号議案 照古苑ひまわりホーム就業規則の一部改正について

第8号議案 照古苑非常勤職員就業規則の一部改正について

第9号議案 照古苑ひまわりホーム非常勤職員就業規則の一部改正について

第10号議案 照古苑給与規則の一部改正について

第11号議案 平成30年度法人本部拠点区分第1次資金収支補正予算について

第12号議案 平成30年度照古苑拠点区分第2次資金収支補正予算について

第13号議案 平成30年度ひまわりホーム拠点区分第1次資金収支補正予算について

第14号議案 平成30年度たんぼぼ拠点区分第2次資金収支補正予算について

第15号議案 照古苑昇降式介護浴槽機一式購入に係る契約締結方法等について

第16号議案 第1回臨時評議員会の招集等について

報告事項

報告第1号 理事長の職務の執行状況の報告について

報告第2号 理事長専決事項の報告について

報告第3号 予備費使用の報告について

報告第4号 照古苑自動車保険に係る契約締結の報告について

報告第5号 熊本労働基準監督署是正勧告及び指導事項に対する改善措置報告について

第4回通常理事会（決議の省略による）

理事会の決議があったものとみなされた日：平成31年1月10日

議案

第1号議案 監事候補者の選任について

第2号議案 評議員会の決議の目的である事項（議案）の提案等について

第5回通常理事会

日時：平成31年3月13日（水曜日）18時00分～

場所：特別養護老人ホーム照古苑会議室

議案

第1号議案 平成30年度法人本部拠点区分第2次資金収支補正予算について

第2号議案 平成30年度照古苑拠点区分第3次資金収支補正予算について

第3号議案 平成30年度ひまわり拠点区分第2次資金収支補正予算について

第4号議案 平成30年度たんぼぼ拠点区分第3次資金収支補正予算について

第5号議案 平成31年度社会福祉法人白日会事業計画について

第6号議案 平成31年度法人本部拠点区分資金収支予算について

第7号議案 平成31年度照古苑拠点区分資金収支予算について

第8号議案 平成31年度ひまわりホーム拠点区分資金収支予算について

第9号議案 平成31年度たんぼぼ拠点区分資金収支予算について

第10号議案 平成31年度社会福祉法人白日会資金運用計画について

第11号議案 社会福祉法人白日会定款変更について

第12号議案 社会福祉法人白日会役員等に対する報酬等に関する規程の一部
改正について

第13号議案 照古苑就業規則等の一部改正について

第14号議案 照古苑給与規則等の一部改正について

第15号議案 照古苑組織規則の一部改正について

第16号議案 たんぼぼ保育園運営規程の一部改正について

第17号議案 たんぼぼ保育園給与等支給規則の一部改正について

第18号議案 照古苑介護業務支援システム導入に係る契約締結方法等につい
て

第19号議案 第三者委員の選任について

第20号議案 第三者委員の選任について

第21号議案 評議員選任・解任委員会委員（監事）の選任について

第22号議案 評議員選任・解任委員会委員（事務局員）の選任について

第23号議案 第3回臨時評議員会の招集等について

報告事項

報告第1号 照古苑昇降式介護浴槽機一式購入に係る契約締結の報告について

報告第2号 予備費使用の報告について

(4) 評議員会

すべての議案は承認されました。

定時評議員会

日時：平成30年6月21日（木曜日）15時00分～

場所：特別養護老人ホーム照古苑会議室

議案

議案第1号 平成29年度社会福祉法人白日会事業報告について

議案第2号 平成29年度社会福祉法人白日会の決算に係る計算書類等の承認
について

議案第3号 平成30年度照古苑拠点区分第1次資金収支補正予算について

議案第4号 平成30年度たんぼぼ拠点区分第1次資金収支補正予算について

第1回臨時評議員会

日時：平成30年12月12日（水曜日）14時55分～

場所：特別養護老人ホーム照古苑会議室

議案

議案第1号 平成29年度社会福祉法人白日会事業報告について

議案第2号 平成29年度社会福祉法人白日会の決算に係る計算書類等の承認
について

議案第3号 平成30年度照古苑拠点区分第1次資金収支補正予算について

議案第4号 平成30年度たんぼぼ拠点区分第1次資金収支補正予算について

第2回臨時評議員会（決議の省略）

決議があったものとみなされた日：平成31年1月22日

議案

第1号議案 監事の選任について

第3回臨時評議員会

日時：平成31年3月26日（火曜日）14時50分～

場所：特別養護老人ホーム照古苑会議室

議案

第1号議案 平成30年度法人本部拠点区分第2次資金収支補正予算について

第2号議案 平成30年度照古苑拠点区分第3次資金収支補正予算について

第3号議案 平成30年度ひまわり拠点区分第2次資金収支補正予算について

第4号議案 平成30年度たんぼぼ拠点区分第3次資金収支補正予算について

第5号議案 平成31年度社会福祉法人白日会事業計画について

第6号議案 平成31年度法人本部拠点区分資金収支予算について

第7号議案 平成31年度照古苑拠点区分資金収支予算について

第8号議案 平成31年度ひまわり拠点区分資金収支予算について

第9号議案 平成31年度たんぼぼ拠点区分資金収支予算について

第10号議案 社会福祉法人白日会定款変更について

II 照古苑事業報告

1 重点課題

(1) サービスの質の向上

① 委員会活動

委員会名	構成人数	開催回数
感染管理委員会	10名	11回
安全対策委員会	9名	12回
環境美化委員会	10名	1回
身体拘束の廃止を検討する委員会	9名	12回
褥瘡(シヨクソウ)委員会	8名	4回
看取り検討委員会	6名	3回
研修委員会	12名	10回
照古苑祭実行委員会	15名	13回

② 研修実績

ア 職場内研修

i 時間外研修

期日	研修名	参加人数	備考
5月23日	食中毒予防研修	81	全職員対象
7月25日	ストレスケアマネジメント研修	68	全職員対象
9月19日	安全対策研修①～リスクの管理・予防策～ 身体拘束の適正化のための研修①	69	全職員対象
10月24日	口腔ケア実践研修	38	介護職員対象
11月28日	感染症予防研修	59	全職員対象
2月20日	安全対策研修②～リスクの管理・予防策～ 身体拘束の適正化のための研修②	58	全職員対象
3月20日	認知症の理解	69	全職員対象

ii 時間内研修

期日	研修名	参加人数	備考
5月8日	人事評価研修(前期)	21	副主任、主任
5月10日	人事評価研修(前期)	15	副主任、主任
10月4日	人事評価研修(後期)	12	副主任以上

10月5日	人事評価研修（後期）	22	副主任以上
10月11日	人事評価研修（後期）	11	副主任以上

イ 外部派遣研修

期日	研修名	参加人数	主催
4月～12月	介護福祉士ファーストステップ研修	1	熊本県介護福祉士会
4月26日	P T技術研修会	2	宇城総合病院
4月28日	熊本県栄養士会福祉職域事業部合同研修会	1	熊本県栄養士会
5月8日	排泄ケア IN 熊本	1	L L C 地域ケア研究所
5月16日	地域ケア連携研修会	9	国立病院機構熊本南病院
5月28日	熊本県高齢者権利擁護 基礎研修	1	熊本県
6月4～6 26～29	前期ユニットケア研修	1	日本ユニットケア推進センター
6月9日	身体拘束廃止に必要な基礎的知識及びケアのあり方研修会	2	熊本県高齢者の抑制を考える会
6月16日	介護保険診療研修会	1	熊本保健科学大学
6月29日	地域ケア会議司会者ファシリテーター養成研修	2	熊本県
7月～8月	介護福祉士養成実習施設実習指導者養成研修	1	熊本県介護福祉士会
7月3日	コーチングコミュニケーションを面談や保健指導で活かす	1	熊本産業保健総合支援センター
7月16日	ポジティブ認知症ケア研修会	1	熊本県認知症ケア専門士会
7月18日	福祉事業部スキルアップ研修会	1	熊本県栄養士会福祉事業部
7月19,20	九州老人福祉施設職員研究大会	3	九州老人福祉施設協議会
8月21日	宇城圏域「医療関連感染対策ラウンド研修会Ⅱ」	1	熊本県宇城保健所
8月10日	認知症介護基礎研修	1	全国老人福祉施設協議会

8月～9月	熊本県養護者による高齢者虐待対応現任者標準研修	1	熊本県社会福祉士会
8月24日	生活支援コーディネーター養成研修	2	熊本県社会福祉協議会
8月28,29	モチベーションアップ研修会	2	熊本県社会福祉協議会
8月30日	ユニットケア研修「個別ケアセミナー」	2	特別養護老人ホームくわのみ荘
8月30日	公正採用選考人権・同和問題啓発推進員研修会	1	宇城公共職業安定所
9月～10月	認知症介護実践者研修	2	全国老人福祉施設協議会
9月4,5 2月5,6	スーパーバイザー養成研修会	2	熊本県社会福祉協議会
9月8日	熊本県介護保険施設連絡協議会研究大会	1	熊本県介護保険施設連絡協議会
9月11日	生活困難者レスキュー事業CSW初任者研修会	1	熊本県社会福祉協議会
9月12日	労働衛生管理講習会	1	熊本県労働基準監督署
9月12,13	認知症初期集中支援チーム員研修	2	熊本県
9月14日	生活相談員研修会	1	熊本県社会福祉協議会
9月19日	高齢者権利擁護特別研究	6	熊本県
9月19日	依存症支援者研修会	1	熊本県精神保健福祉センター
9月20日	宇土市権利擁護研修会	1 2	宇土市
9月21日	アンガーマネジメント研修	2	熊本県社会福祉協議会
9月21日 10月19日	宇城圏域在宅緩和ケア研修会	2	熊本県宇城保健所
9月22日	第2回熊本栄養ケア・ステーション指定講習会	1	熊本県栄養士会
9月～11月	熊本県喀痰吸引等研修	6	総合健康推進財団
9月26日	メンタルヘルス対策セルフケア教育	1	熊本産業保健総合支援センター
9月27日	アセッサー講習会	2	介護プロフェッショナル段

			位制度事務局
9月29日	介護職種の技能実習指導員講習	2	日本介護福祉士会
6月22日	福祉職員レクリエーション研修会	2	熊本県社会福祉協議会
10月～11月	生活支援コーディネーター養成研修	2	熊本県社会福祉協議会
10月18日	城南ブロック事務長及び事務担当者研修	2	熊本県老人福祉施設協議会
10月23日	ケアプラン点検支援体制構築事業に係る各圏域での研修会	2	熊本県
10月27,28	熊本県喀痰吸引等研修指導者養成講習	2	総合健康推進財団
10月27,28	社会福祉士実習指導者講習会	1	熊本県社会福祉士会
11月～12月	ユニットリーダー研修	1	日本ユニットケア推進センター
11月6,7	リスクマネジメント研修会	1	熊本県社会福祉協議会
11月13日	熊本県若年性認知症受入促進研修	1	熊本県
11月14,15	老人福祉施設会計事務研修会	1	熊本県老人福祉施設協議会
11月17日	認知症フォーラム in2018	2	宇土市
11月18日	地域包括支援センター職員・市町村担当職員等研修会	1	熊本県
11月27日	福祉サービス苦情解決研修会	1	熊本県運営適正化委員会
1月9日	成年後見制度利用促進研修会	1	熊本県社会福祉協議会
1月17,30	キャラバン・メイト養成研修会	10	宇土市
1月26日	第36回熊本県老人福祉施設研究大会	3	熊本県老人福祉施設協議会
1月29日	自立応援プロジェクト人材育成研修会	1	熊本地域リハビリテーション支援協議会
12月19日	宇城地域自殺予防ゲートキーパー養成研修会	3	熊本県宇城保健所
2月12日	認知症地域支援推進員フォローアップ研修	1	熊本県

2月14日	福祉業務改善セミナー	2	リコージャパン西営業所
2月22日	キャラバン・メイトスキルアップ研修会	1	熊本県
2月26日	城南ブロック事務担当者研修会	2	熊本県老人福祉施設協議会
2月27日	市町村介護予防研修会	2	熊本県
3月1日	がんばっとる県 包括研修会	2	熊本県地域包括・在宅介護支援センター協議会
3月16日	熊本高齢者の抑制を考える会研修会	2	熊本高齢者の抑制を考える会
3月20日	熊本介護ロボット導入促進セミナー	2	熊本県

③ 第三者評価の受審

7月に、特定非営利法人ワークショップ「いふ」と契約を締結し、職員及び家族会への説明会を開催しました。

9月には、職員及び家族会へのアンケートを実施し、11月には照古苑及びひまわりホームでの聞き取り調査が実施されました。

3段階評価の結果は、評価項目63の中でC評価が1項目ありましたが、全体としては満足のいく評価結果であったと思います。重点課題に掲げているサービスの質の向上については、高い評価を受けました。入所者の生活の中での一番の楽しみである「美味しく楽しい食事の支援」は、調理業務の直営にこだわり、できるだけ地元産食材を使った食事の提供を、家族と事業所との信頼関係である「家族との連携」を、また、サービスの提供に欠かせない「職員の質の向上を目指した研修」による職員の育成などが評価されました。

反面、C評価を受けた項目である「中・長期的なビジョンを明確にした計画の策定」を怠っていたことは反省しなければならない。

今回の受審により何が足りなかったのか明確になったことで、改善点を職員全員で共有し、さらにサービスの向上に努めてまいります。

④ 施設環境の整備

利用者にとって快適な生活環境の提供を第一に、必要な整備を行いました。

- ・ LED照明の整備を行いました。
- ・ 昇降式介護浴槽機を更新しました。

(2) 地域における公益的取組の推進

① 生計困難者レスキュー事業

照古苑生活相談課職員を中心に、相談支援を行いました。

② 認知症カフェ（通称：ひまわりカフェ）

照古苑公益的取組推進委員会のメンバーにより、毎月、第3木曜日に開催しました。

③ 地域の学習教室

9月に熊本県から「ひとり親家庭等学習支援教室」の指定を受けましたが、利用する小中学生からの申込はありませんでした。

(3) 信頼と協力を得るための情報発信

① 広報「照古苑」の毎月発行

② ホームページへの新着情報掲載

③ 照古苑祭：10月13日（土）開催

(4) 人材の確保に向けた取組の強化

① 資格取得支援制度の周知

期間	研修名	参加人数	備考
4月～3月	宇城看護高等専修学校（1年生）	1	宇城看護高等専修学校
5月～10月	熊本県介護支援専門員専門・更新研修	1	熊本県介護支援専門員協会
5月～8月	熊本県主任介護支援専門員更新研修	2	熊本県介護支援専門員協会
7月	社会福祉主事認定通信課程	1	全国社会福祉協議会
7月～12月	介護福祉士実務者研修	1	合同会社シャイニング
8月～1月	熊本県主任介護支援専門員研修	1	熊本県介護支援専門員協会
10月～11月	介護職員初任者研修（通信課程）	3	ケアサポート・スクール熊本福祉合同会社

② 福利厚生等処遇の改善

働き方改革に伴う労働基準法の改正により、10日以上の年次有給休暇が附与される職員に、5日以上の年次有給休暇を確実に取得させるため、夏季及び冬季の特別休暇を凍結し、年次有給休暇附与日数の少ない採用4年未満の職員の付与日数を1日増やす就業規則の改正を行いました。

③ ストレスチェックの実施

ストレスチェック：メンタルヘルス不調の未然防止を目的に、ストレスチェッ

ク調査票を配布し、ストレスの程度を把握するものです。

外部機関に委託：MCサポートセンター

対象職員：156人

実施期間：8月3日～8月9日

④ 照古苑職員互助組織「照友会」への支援・連携

委員会名	構成人数	開催回数
照友会	14名	11回

ア ソフトボール部の活動に助成を行いました。

イ 夏祭参加への助成を行いました。（くまもと心療病院、うと地蔵まつり）

(5) 健全な財務規律の確立

- ・ 経理規程を遵守し、コスト比較の徹底により経費の節減に努めました。
- ・ 照古苑ショートステーションに理学療法士を配置し、個別機能訓練加算の取得を始めました。

2 特別養護老人ホーム照古苑

定員：110人（多床室31室、個室1室）

入所者及びご家族との良好な関係を築き、また、十分な意思の疎通を図ることで、入所者及びご家族が満足できる良質なサービスの提供に努めました。

夜間は、夜勤職員5人の配置、看護職員によるオンコール体制により、緊急時にも対応しました。

入所者の状況において大きな変化は見られないものの、「(6) 入所待機者の状況」で分かるように、平成27年度から入所要件が要介護1以上から要介護3以上に変更されたことから、待機者数が減少してきており、申し込んでから入所までの待機期間が短くなってきています。

(1) 入所者の状況

年度末 現在	性別（人）			平均年齢（歳）			平均介護度			在籍期間（年）		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H30年度	18	92	110	86.1	89.1	87.6	4.2	4.2	4.2	3.0	3.5	3.2
H29年度	18	92	110	87.1	89.2	88.4	4.4	4.2	4.2	3.3	3.8	3.7

H28年度	17	93	110	84.5	88.9	88.2	4.1	4.1	4.1	3.8	4.4	4.1
H27年度	18	92	110	82.8	89.0	87.9	4.1	4.2	4.2	3.6	7.0	6.4
H26年度	21	89	110	81.8	87.7	86.6	3.3	3.9	3.8	3.7	5.3	5.0

(2) 入退所の推移

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
退所者数	22人	22人	24人	28人	27人
入所者数	21人	23人	24人	28人	26人

(3) 新規入所者の状況

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
平均介護度	4.00	3.96	3.64	4.14	4.04
平均年齢	86.0	87.6	91.3	88.5	86.3

(4) 入所前の居所

年度	介護老人 保健施設	医療機関	在宅	有料老人 ホーム	サ高住 (グループ ホーム等)	その他 (特養他)	合計
H30年度	7人	5人	8人	5人	1人	0人	26人
H29年度	7人	4人	7人	9人	0人	1人	28人
H28年度	8人	3人	4人	6人	1人	2人	24人
H27年度	9人	2人	7人	3人	0人	2人	23人
H26年度	4人	4人	6人	3人	3人	1人	21人
H25年度	10人	5人	4人	7人	1人	0人	27人

(5) 退所の事由

年度	看取り	急変	入院死亡	入院退所	在宅、有料 老人ホーム他	合計
H30年度	20人	0人	0人	6人	1人	27人
H29年度	11人	3人	3人	11人	0人	28人

H28年度	15人	1人	2人	4人	2人	24人
H27年度	8人	3人	5人	5人	1人	22人
H26年度	12人	4人	1人	3人	2人	22人
H25年度	11人	5人	4人	5人	2人	27人

(6) 入所待機者の状況

年度末 現在	性別（人）			平均年齢（歳）			平均介護度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H30年度	36	51	87	80.8	88.5	85.3	3.51	3.43	3.46
H29年度	33	56	89	81.6	86.6	84.7	3.78	3.05	3.32
H28年度	29	68	97	83.0	87.0	85.8	3.61	3.12	3.26
H27年度	29	67	96	83.3	85.8	85.1	3.62	2.83	3.07
H26年度	38	83	121	83.9	86.5	85.7	3.10	2.87	2.94
H25年度	33	97	130	78.5	85.4	83.7	3.09	2.79	2.87

(7) 年間平均稼働率

単位：%

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
H30年度	98.7	98.7	97.6	98.6	98.5	98.5	98.9	98.9	99.1	99	97.4	99.1	98.6
H29年度	100.0	99.1	98.9	97.9	99.0	98.9	98.0	97.0	97.2	97.1	98.9	98.1	98.3
H28年度	98.3	98.5	99.0	99.4	98.8	99.1	98.3	97.8	98.5	97.9	98.7	98.5	98.6
H27年度	98.1	99.2	98.1	97.5	98.0	98.0	98.0	97.0	97.0	98.3	97.8	97.8	97.9
H26年度	97.7	97.5	97.6	98.8	98.0	99.1	98.1	98.0	98.9	99.4	99.6	98.0	97.1
H25年度	96.2	96.0	97.0	98.7	97.4	97.9	96.4	91.4	97.8	97.8	98.1	98.2	97.3

(8) 安全対策

事故件数

事故	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
転倒	6	30	—	—	—
転落	11	14	—	—	—
その他	55	62	—	—	—

(骨折)	(5)	(5)	—	—	—
外傷	130	171	—	—	—
薬関係	52	52	—	—	—
食事関係	18	22	—	—	—
離設	3	5	—	—	—
医療関係	32	30	—	—	—
合計	307	386	—	—	—
市町村報告	11	16	—	—	—
インシデント	295	519	—	—	—

(9) 介護保険事業収益と人件費

(単位：円、%)

年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
介護保険事業収益 (A)	458,746,781	465,639,681	—	—	—
人件費 (B)	327,867,879	302,547,788	—	—	—
介護保険事業収益と 人件費の割合(B/A)	71.5	65.0	—	—	—

(10) 保健所に報告したインフルエンザ感染の状況

一部の利用者及び職員の感染はありましたが、保健所に報告するような集団感染はありませんでした。

3 照古苑ショートステーション (短期入所)

定員：20人 (2人部屋7室、個室6室)

在宅部としてデイサービスとの兼務の職員を配置し、日中は5人体制、夜勤はショートステーション専属で1名配置し、利用者の状態把握、状態に合わせた適切なケア、サービスの充実に努めました。

また、当年度から常勤の理学療法士1名を配置し、利用者の個別機能訓練の充実に図りました。

(1) 利用状況

年間の平均稼働率は、前年度と比較すると0.3ポイント減で、ほぼ前年度並みの利用でした。高い稼働率を示した熊本地震があった平成28年度を除くと、安定した利用状況でした。

利用者の状態把握、状態に合わせた適切なケア、サービス充実に努め、徐々に利

用者が増加しています。更なる利用者増を目指し、新規の利用者を獲得すべく居宅介護支援事業所等と、密接な連携を図っていきます。

また、利用者の平均介護度は若干低下傾向にあり、要支援者を含む介護度の低い方々の利用増に努め、家族介護の負担軽減につながることを期待します。

表 1 年間平均稼働率 単位：%

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
H30年度	66.3	72.1	81.0	79.2	76.3	81.0	73.4	77.0	75.3	61.5	71.8	63.4	73.2
H29年度	68.2	68.2	61.5	73.4	82.7	76.2	68.7	81.3	77.3	86.5	66.8	70.8	73.5
H28年度	82.3	89.4	83.9	85.9	87.6	89.4	78.6	69.2	72.6	75.0	80.0	67.0	80.1
H27年度	75.0	71.5	55.0	60.0	60.0	55.0	61.0	71.2	70.3	74.5	78.3	73.9	67.1
H26年度	57.5	59.0	58.0	66.5	75.0	81.5	82.5	78.0	77.5	72.0	82.0	72.5	71.8
H25年度	88.0	87.0	83.0	74.5	76.5	76.0	72.5	62.0	59.0	56.5	69.0	60.0	72.0

表 2 利用者の平均介護度

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
平均介護度	2.5	2.4	2.1	2.0	2.0

(要支援 1、2 を除く。)

(2) 介護保険事業収益と人件費

(単位：円、%)

年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
介護保険事業収益 (A)	55,050,401	54,617,099	—	—	—
人件費 (B)	44,075,193	45,750,239	—	—	—
介護保険事業収益と 人件費の割合(B/A)	80.1	83.8	—	—	—

(3) 事故件数

事故	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
転倒	5	4	—	—	—
転落	3	6	—	—	—
その他	4	7	—	—	—
(骨折)	(1)	(1)	—	—	—
外傷	3	5	—	—	—

薬関係	1	(1)	—	—	—
食事関係	0	(3)	—	—	—
離設	0	2	—	—	—
医療関係	0	0	—	—	—
合計	16	24	—	—	—
市町村報告	3	2	—	—	—
インシデント	3	52	—	—	—

4 照古苑デイサービスセンター（通所介護）

定員：40人

利用者の意思及び人格を尊重し、利用者本位のサービス提供に努めました。

リハビリ体制は、常勤の理学療法士3名とパート（週4日6時間勤務）の理学療法士1名により、利用者個々の状態に合わせた機能向上訓練、看護師による生活動作訓練に分けて提供しています。今後も利用者一人一人のニーズを捉え満足していただけるサービスを提供できるよう職員の質の向上を図ってまいります。

（1）利用状況

平成30年度は通常規模事業所として営業しました。通常規模としたことで利用単価が上がり、平均利用者数に大きな変化はありませんでしたが、報酬単価の引き下げによる影響は回避することが出来ました。また、事業対象者や要支援者にウェルネス照古苑いきいき道場を利用していただくことで、全体としては利用者も増加しています。要介護から要支援、要支援から要介護へと変更となる利用者に対しても同じ職員の下でサービスを継続できる安心感もあるようです。

大規模事業所になると報酬単価が大きく減少することもあり、照古苑としては意図的に、平成30年度も通常規模型の月平均延べ利用者数を750人以下に誘導しました。その結果、次年度も通常規模で営業出来ることとなりました。

表1 1日当たりの平均利用人数 単位：人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
H30年度	30.6	29.3	31.8	33.2	32.2	34.8	33.7	34.7	34.6	30.6	32.2	31.8	32.5
H29年度	34.8	36.0	35.2	34.0	33.3	34.2	34.2	30.7	31.6	30.2	31.9	31.6	33.1
H28年度	30.9	36.5	36.4	38.3	38.0	38.2	36.8	37.4	37.0	37.8	36.5	37.2	36.8
H27年度	37.3	37.0	38.2	37.8	38.0	38.8	39.7	40.1	39.7	37.7	35.4	36.0	38.0
H26年度	37.5	37.5	37.4	35.6	37.0	37.5	38.3	39.8	39.0	32.5	33.8	38.0	37.0

H25 年度	35.9	37.7	37.7	37.2	34.8	35.1	33.9	34.7	35.0	35.8	35.0	36.3	35.8
--------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

表 2 利用者の平均介護度

年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
平均介護度	1.4	1.3	1.6	1.7	1.6

(2) 介護保険事業収益と人件費

(単位：円、%)

年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度	H33 年度
介護保険事業収益 (A)	94,548,606	102,654,179	—	—	—
人件費 (B)	80,929,342	73,362,746	—	—	—
介護保険事業収益と 人件費の割合(B/A)	85.6	71.5	—	—	—

※ ウェルネス照古苑いきいき道場を含む。

(3) 事故件数

事 故	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
転 倒	7	15	—	—	—
転 落	0	1	—	—	—
その他	8	0	—	—	—
(骨折)	(0)	(0)	—	—	—
外傷	12	8	—	—	—
薬関係	0	0	—	—	—
食事関係	0	1	—	—	—
離設	1	0	—	—	—
医療関係	0	0	—	—	—
合計	28	25	—	—	—
市町村報告	3	5	—	—	—
インシデント	5	45	—	—	—

※ ウェルネス照古苑いきいき道場を含む。

4-2 ウェルネス照古苑いきいき道場 (宇土市介護予防・日常生活支援総合事業)

事業対象者・要支援者の介護予防を目的にウェルネス照古苑いきいき道場を平成 2

8年10月に開設し2年半が経ちました。台所や浴室も整備し、利用者が自立した生活が出来るよう生活機能に着目したリハビリを行っています。開設からの延べ利用者数は150名を超え、宇土市での「いきいき道場」の知名度も上がってきているようです。

(1) サービスA (月～土)

平成30年の4月からはデイケアでも要支援者の利用を制限されたためのサービス移行により多くの新規利用者を獲得できました。総合事業において、入浴サービスを行わない事業所が多くある中、いきいき道場では利用者のニーズを尊重し、入浴・買い物などの生活支援、認知症予防のための脳の活性化訓練、潜在能力の引き出し、筋力の維持・向上のためのリハビリなど多彩な内容を2名～3名の職員で行っています。また、サービスC型を卒業された利用者の多くがサービスA型に移行され継続利用されています。今後もサービスの質を落とすことなく、収益増を図っていきます。

表1 1日当りの通常利用人数 ()は自費利用者数

利用者	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業対象者	0	2.0 (1.1)	4.2 (1.3)	—	—
要支援1	0	1.6 (1.7)	1.8 (1.0)	—	—
要支援2	0	0.3 (0.6)	2.1 (1.0)	—	—
合計	0	3.9 (3.4)	8.1 (3.3)	—	—

(2) サービスC (月・水・金)

1年間を通じて利用者数の顕著な増加は見られませんでした。利用者は概ね4ヶ月～6ヶ月でサービスC型を卒業するサイクルが影響しています。卒業された方々はサービスA型への利用につながるよう努めます。また、C型(卒業後A型に移行含む)卒業の3名の利用者がいきいき道場のボランティアとして週1回来苑し活躍されています。

表2 1日当りの利用人数

利用者	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業対象者	1.6人	2.8人	1.9人	—	—
要支援1	0.4人	1.0人	1.0人	—	—
要支援2	0.2人	0.6人	2.1人	—	—
合計	2.2人	4.4人	5.0人	—	—

5 照古苑居宅介護支援事業所

当事業所は、4名の介護支援専門員(主任介護専門員を含む)を配置して、利用者、

家族の立場を理解し、十分なアセスメントや意向調査に基づいた、きめ細かなケアプラン作成に努めました。

また、地域包括支援センターと同法人にあることから、日々の相談業務において、迅速な対応調整等の連携を図りました。

介護保険サービス事業所や行政、医療機関等関係機関とも連携し、利用者の要望に対応しました。

(1) 支援状況

利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じて、自立した日常生活を営めるように、地域に根差した質の高い効果的な居宅サービスのケアプランを作成し、管理、実践にあたりました。

年間支援件数は、一昨年から減少傾向にあります。これは、地域包括支援センターからの委託が減少していることによります。要介護の方への支援は、当年度は特養入所や死亡が多かったため減少していますが、今後も増加傾向にあると考えます。

表1 年間介護度別の支援件数

年 度	事 業 対 象 者	要支援			要介護					合 計	
		1	2	計	1	2	3	4	5		計
平成 30 年度	34	39	6	79	653	293	160	96	11	1,213	1,292
平成 29 年度	9	63	33	96	627	309	134	148	36	1,254	1,359
平成 28 年度	0	115	28	143	679	280	133	138	15	1,245	1,388
平成 27 年度	0	21	26	47	563	172	114	116	47	1,012	1,059
平成 26 年度	0	117	149	266	493	214	153	115	72	1,047	1,313
平成 25 年度	0	121	170	291	434	260	148	57	42	941	1,232

表2 登録者数と給付請求件数

年 度	登録者数			支援実績件数（請求分）	
	要介護者	要支援者	事 業 対 象 者	要介護者	要支援者 (事業対象者含む)
平成 30 年度	115	4	3	101	4
平成 29 年度	114	4	2	105	7
平成 28 年度	125	9	—	105	12
平成 27 年度	94	3	—	84	4
平成 26 年度	122	22	—	87	22
平成 25 年度	111	24	—	78	24

表3 年間事業者別利用状況

年 度	訪問介護	通所介護	通所リハ	短期入所	福祉用具	その他
平成30年度	36	84	10	21	50	12
平成29年度	45	90	10	20	55	10
平成28年度	44(7)	88(13)	10(3)	17(0)	56(3)	8(0)
平成27年度	33(3)	68(15)	10(5)	15(0)	42(7)	10(0)
平成26年度	34(6)	65(19)	14(5)	16(4)	43(10)	11(0)

※ () は要支援者の内訳。

※その他は定期巡回、訪問看護、訪問リハ、訪問入浴等

(2) 介護保険事業収益と人件費

(単位：円、%)

年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
介護保険事業収益 (A)	19,768,200	19,045,280	—	—	—
人 件 費 (B)	16,887,334	18,903,141	—	—	—
介護保険事業収益と 人件費の割合(B/A)	85.4	99.3	—	—	—

(3) 重点項目への取り組み

① 在宅生活を継続するための支援

地域包括支援センター、民生委員、警察、自治会、サービス提供事業所等、地域の関係機関で構成する「SOSネットワーク会議」や「見守りネットワーク会議」への参加を通じて、関係機関との協働を推進し、利用者の安全確保体制の強化につなげました。

② 医療機関との連携

医療ニーズの高い利用者には、入退院時のカンファレンス等に積極的に参加し、主治医や訪問看護との連携を密に図り、きめ細かなサービス提供に努めました。

③ 関係機関との連携

地域ケア会議に積極的に参加し、個別事例等に対し、多職種による検討や情報共有を図り、問題解決に努めました。

④ 職員の資質向上

多様化する介護保険制度に対応できるよう、「Ⅱ照古苑1重点課題②研修実績」のとおり積極的に研修会に参加し、職員のスキルアップに努めました。

6 宇土市地域包括支援センター

当センターは、公正・中立の立場から、平成30年度は市から地域支援事業10事業、

介護予防支援等としてケアマネジメント業務、計11事業を受託しました。

設置から13年目を迎え、機能役割も多様化し、地域支援体制の構築に努め運営に努めました。

- 1 地域支援事業
 - (1) 地域包括支援センター業務
 - ア 総合相談支援事業
 - イ 権利擁護事業
 - ウ 包括的・継続的ケアマネジメント事業
 - (2) 地域ケア会議推進事業
 - (3) 認知症総合支援事業
 - ア 認知症地域支援・ケア向上推進事業
 - イ 認知症サポーター養成事業
 - ウ 認知症高齢者見守り事業
 - エ 認知症初期集中支援推進事業
 - (4) 生活支援コーディネーター業務
 - (5) 在宅医療・介護連携推進事業
- 2 介護予防支援等（要支援1・2、事業対象者のケアマネジメント業務）

(1) 職員配置

平成30年度末時点で、保健師(2人)、看護師(1人)、社会福祉士(4人)、主任介護支援専門員(3人)、認知症支援推進員(社会福祉士1人)、生活支援コーディネーター(保健師1人兼務)、事務員(1人)、計12人を配置し、専門性を強化し運営しました。

(2) 活動実績

① 地域包括支援センター業務

ア 総合相談支援事業

相談対応件数は、年間1,434件。事務所に専門職1名以上が待機する体制をとりました。新規相談は205件。啓発活動としては、年度当初に集中的に48箇所を訪問。地域をネットワークの面ととらえ「顔の見える連携」を意識し活動しました。相談内容で最も多かったのが医療介護相談649件(45%を占めます)。

初回相談は月平均17件、相談者も多様化しています。

センターの特徴である24時間相談受付体制として、夜間休日は専門職が電話をうけ、時間外相談件数は86件と増加傾向にあります。

イ 権利擁護事業

虐待対応件数は13件(疑い含む)。うち虐待認定は3件。類型は心理的権利侵害2件、身体的権利侵害2件(重複あり)でした。被虐待者を分離保護した事案は1件。権利擁護事業や後見制度に関わる相談は82件。包括より市長による審判請求の要請を行ったのが1件。後見申立て支援や後見人選任につなげた事案は2件。

消費者被害防止の取組みは、民生委員、居宅事業所や協力機関へ具体的事例と対

処方法など周知。高齢者に身近な立場へ情報提供、注意喚起を図りました。

ウ 包括的・継続的ケアマネジメント事業

今年度は圏域居宅11カ所へ個別訪問・ヒアリングを実施。介護支援専門員の悩み、地域課題、要望などを聞き取りし、対話を重視しました。

また、介護支援専門員向け研修会を2回開催。困難事例支援は延べ75件、ケアプラン指導・助言は延べ14件となりました。

② 地域ケア会議推進事業

今年度は、個別ケースの検討を中心に実施。「自立支援、重度化予防に資するケアマネジメントの支援」に柱をおき、会議提出事例選定要件を明確にしました。

実績としては、定期的に月1回開催。1回につき3件検討。年間延べ31件実施。

③ 認知症総合支援事業

ア 認知症地域支援・ケア向上推進事業

個別相談は231件、若年性認知症相談は6件。初回相談16件。包括全体の（他業務含めた）認知症の方の対応は延べ715件となっており、認知症に関する相談機関の重要性はさらに高まっています。

また、毎年地域住民向けに開催している認知症フォーラムでは、初めて小学6年生からの発表を企画しました。

さらに、見守り模擬訓練では、目的に賛同を頂いた走潟地区の地区社協を中心に、数回の打合せなど準備を重ね実施することができました。

イ 認知症サポーター養成事業

養成講座の開催実績は、年間11回、347人を養成しました。

第7期計画では、今年度のサポーター養成累計数の目標は5,900人でしたが、実際は5,709人となりました。

ウ 認知症高齢者見守り事業

今年度も幅広く啓発活動を行い、事業の理解とあわせ、ネットワーク強化、見守り体制構築を図りました。事前登録については、新規登録者が18件。登録者へ定期的な状況把握として、35名に現況調査を行いました。

エ 認知症初期集中支援推進事業

実績は、定期的にチーム員会議を月1回開催。対応件数は昨年同様4件。

チーム員活動では、専門多職種で検討し多角的な関わりを持つことができ、医療や介護保険サービスに繋がったケースや緊急時の判断で入院等に繋がった事例もあり効果はありました。

④ 生活支援コーディネーター業務

第2層協議体の運営実績としては、緑川行政区（下新開）2回、網田校区社協1回、緑川校区社協1回と計4回開催。各地域で啓発活動にも努めました。地域に入り活動することで住民と顔の見える関係が構築され、つながりが増えました。

⑤ 在宅医療・介護連携推進事業

相談件数173件。内容は退院後の支援依頼、がん末期在宅支援、看とりの相談、施設入所相談など幅広くなっています。連携回数は279件。宇土市内はもちろん近隣医療機関からも相談や情報提供が増加し、相談窓口として浸透しています。

(3) 介護予防支援等（事業対象者、要支援1・2のマネジメント業務）

年間の請求実績は要支援1・2が2,402件、事業対象者が729件、年間合計件数は3,131件。センターが直接対応は1,949件、居宅介護支援事業所への委託が1,182件となりました。

(4) 介護保険事業収益と人件費

(単位：円、%)

年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
介護保険事業収益 (A)	59,412,500	59,434,100	—	—	—
人件費 (B)	55,611,149	54,150,709	—	—	—
介護保険事業収益と 人件費の割合(B/A)	93.6	91.1	—	—	—

(5) 総括

今年度のセンター全体の相談対応件数は、表1活動実績をみると、7,302件。総件数は前年度と大きな増減はありませんが、初回相談205件、時間外86件となっており、センターに求められる役割機能も増え、地域に定着しています。

平成18年に市から委託を受け13年が経過。高齢者世帯の増加、核家族化、若い世代の就労問題など暮らしやニーズも多様化しています。そういった中で、センターが受ける相談も増加・多様化し、より機能強化、質の向上が求められています。

今後は、「地域包括ケア」を念頭に、「地域の中でその人らしくできる限り生活し続け、また、地域資源を有効に活用」していくため、センターとしてもニーズに応じた適切な支援調整を行い、「予防」や「地域見守り」の意識づくり（啓発）を宇土市、関係機関と連携し支援に努めてまいります。

表1 活動実績

年度	活動形態			合計	合計のうち 初回相談
	電話件数	来所件数	訪問件数		
平成30年度	2,805	325	4,172	7,302	205
平成29年度	2,559	345	4,267	7,171	235
平成28年度	1,688	270	3,579	7,256	275
平成27年度	1,581	220	5,084	6,885	200
平成26年度	2,907	407	5,132	8,446	238
平成25年度	2,811	404	4,676	7,891	—

7 照古苑 ひまわりホーム（地域密着型指定介護老人福祉施設）

定員：29人（ユニット型個室）

入居者及びご家族との良好な関係を築き、また、十分な意思の疎通を図ることで、入居者及びご家族が満足できる良質なサービスの提供に努めました。

夜間は、夜勤職員 2 人の配置、看護職員によるオンコール体制により、緊急時にも対応しました。現在は、喀痰吸引について、研修を受けた介護職員が配置医師・看護職員の指示の下で看護職員と介護職員が協働して実施できるよう県への登録等を進めています。

入居者状況で前年度と違う部分については、在宅からの入居者が増えたことです。その要因としては、次期入居決定者へ（特に順位が 1 位の方）ひまわりホームのショートステイをロングで利用して頂くようにお声掛けし、今年度は在宅の方 7 名中 5 名の方をロングのショートで繋げる事ができました。ショートを利用して頂くことでスムーズな入居調整また空床期間も短くすることができ、若干ですが前年度よりも稼働率アップに繋がりました。2019 年度もショート利用を取り入れていきながら稼働率アップを図っていきたいと思います。

また入居申込者が、24 名から 36 名と 12 名も増加しました。今後も居宅支援事業所や病院等から入居申込を頂けるように密に連携を取っていきます。

(1) 入居者の状況

年度末 現在	性別（人）			平均年齢（歳）			平均介護度			在籍期間（年）		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H30 年度	3	26	29	94	90.3	90.7	3.5	4.2	4.1	0.69	2.51	2.32
H29 年度	2	27	29	87.0	90.1	89.9	3.0	4.0	4.0	2.37	2.38	2.37
H28 年度	3	26	29	86.3	91.1	90.4	3.5	3.7	3.7	2.14	2.20	2.19
H27 年度	3	26	29	83.7	89.6	89.0	4.0	3.6	3.7	1.69	1.67	1.67
H26 年度	5	24	29	78.4	88.0	86.3	3.4	3.4	3.4	1.12	1.08	1.08

(2) 入退居の推移

年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
退居者数	10 人	8 人	7 人	11 人	8 人
入居者数	11 人	8 人	7 人	10 人	9 人

(3) 新規入居者の状況

年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
平均介護度	3.6	3.4	3.4	4.4	3.8
平均年齢	86.6	88.5	88.7	86.0	90.1

(4) 入居前の居所

年度	介護老人 保健施設	医療機関	在宅	有料老人 ホーム	サ高住 (グループ ホーム等)	その他 (特養他)	合計
H30年度	0人	1人	7人	1人	0人	0人	9人
H29年度	2人	2人	1人	2人	2人	1人	10人
H28年度	1人	0人	0人	1人	0人	5人	7人
H27年度	1人	1人	1人	2人	0人	3人	8人
H26年度	0人	1人	6人	1人	2人	1人	11人

(5) 退居の事由

年度	看取り	急変	入院死亡	入院退居	在宅、有料 老人ホーム他	合計
H30年度	1人	1人	2人	4人	0人	8人
H29年度	3人	1人	1人	5人	1人	11人
H28年度	2人	0人	1人	2人	2人	7人
H27年度	2人	0人	0人	5人	1人	8人
H26年度	2人	0人	2人	5人	1人	10人

(6) 入居待機者の状況

年度末 現在	性別 (人)			平均年齢 (歳)			平均介護度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H30年度	13	23	36	84.0	88.0	86.0	3.4	3.2	3.3
H29年度	6	18	24	86.0	78.6	82.3	3.5	2.8	3.2
H28年度	4	23	27	92.5	85.8	89.2	3.0	3.7	3.4
H27年度	7	21	28	83.0	86.5	84.8	4.0	3.4	3.7
H26年度	8	26	34	—	—	85.2	—	—	2.9

(7) 年間平均稼働率

単位：%

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
H30年度	100.0	98.1	94.6	97.3	96.4	98.0	98.9	98.8	96.8	97.3	98.8	98.7	97.8

H29年度	97.2	98.7	97.1	98.1	97.2	97.2	94.7	94.6	98.9	96.3	97.4	100.0	97.3
H28年度	100.0	100.8	102.8	100.0	100.0	100.0	98.8	97.2	95.1	99.3	99.0	99.4	99.3
H27年度	97.8	98.4	97.7	100.0	98.8	99.4	98.1	99.0	93.9	98.8	99.5	100.0	98.4
H26年度	91.4	97.4	95.0	98.1	97.2	94.9	99.4	100.0	97.3	96.7	98.1	95.7	96.8

(8) 安全対策

事故件数

事故	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
転倒	1	0	—	—	—
転落	0	2	—	—	—
その他	25	28	—	—	—
(骨折)	(0)	(1)	—	—	—
外傷	14	17	—	—	—
薬関係	7	7	—	—	—
食事関係	1	2	—	—	—
離設	0	1	—	—	—
医療関係	0	0	—	—	—
合計	48	58	—	—	—
市町村報告	0	3	—	—	—
インシデント	3	39	—	—	—

(9) 介護保険事業収益と人件費

(単位：円、%)

年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
介護保険事業収益 (A)	135,924,509	142,486,835	—	—	—
人件費 (B)	117,066,706	114,580,835	—	—	—
介護保険事業収益と 人件費の割合(B/A)	86.1	80.4	—	—	—

(10) 保健所に報告したインフルエンザ感染の状況

① 感染期間：1月28日～2月2日

② 感染者：職員4人、入居者6人

※職員4名のうち2名は検査の結果、インフルエンザ（陰性）でしたが感染拡大防止の為にインフルエンザ罹患扱いとして提出しています。

③ 面会制限：2月5日まで

※1月31日時点で2階ユニット20名のご家族に対して不要な面会を控えて頂くよう協力依頼をしました。また、心配で様子をみたいと要望されるご家族についてはマスクの着用・手指消毒の徹底をお願いし、面会を行って頂きました。保健所への報告は、発熱者・インフルエンザ罹患者が2月3日～2月6日までなかったため2月6日で終了。

- ④ 予防投与：関係職員全員へは1週間（投与7回）と2階入居者に対しては1週間（投与7回）又は隔日（投与4回）のタミフル錠の投与を行いました。

※投与回数については、腎臓負担等考慮して投与回数が決められました。

職員：医務2名 機能訓練1名 2階職員8名 相談2名

入居者：がんかい9名 たちおか5名 （14名中4名は隔日投与）

8 照古苑ひまわりホームショートステイ（短期入所）

定員：10人（ユニット型個室）

日中は3人体制、夜勤はフロアごとに1名を配置し、利用者の状態把握、状態に合わせた適切なケア、サービスの充実に努めました。

（1）利用状況

前年度の稼働率と比較すると当年度の稼働率は3.2%の低下でした。月ごとで比較するとH30年4月～7月とH31年3月が、前年度と比べて大きく低下した部分でしたが、逆に8月～2月は大きく上昇している部分であり、時期によって稼働率に大きな開きが見られました。3月の稼働率が低下した部分に関しては、寒い時期での長期利用をされていた方が、暖冬の為に2月一杯で退居された事や、1月・2月中に3月利用希望の依頼が家族やケアマネジャーより多くありましたが、予定を組む段階では満床になっていた為その依頼をお断りした事も少なくなく、「ひまわりホームは空室が無い」というイメージが着き、新たな依頼が無かったことも原因のひとつと考えられます。

実際、最近依頼があった際に「お部屋が空いているのですか？」とケアマネジャーから話を聞く事もありました。4月等前半部分もそういうイメージが稼働率低下につながっている可能性があると考えますので、今後は毎月多くの方に利用して頂けるようにホームページ内カレンダーの活用も行いながら情報発信を継続し、利用者の満足や家族の負担軽減につながるよう努めていきます。

表1 年間平均稼働率

単位：%

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
H30年度	73.3	63.9	78.3	69.7	92.6	86.3	86.5	88.3	86.1	90.6	96.8	75.5	82.3
H29年度	87.0	89.3	84.0	88.0	88.0	83.5	82.5	80.6	84.8	75.8	85.0	87.7	85.5
H28年度	92.6	102.9	78.5	87.5	77.0	78.6	82.2	79.6	79.3	69.6	93.5	95.8	84.8

H27 年度	69.3	62.2	61.0	64.5	62.2	48.7	61.6	63.0	65.4	71.9	67.5	76.1	64.5
H26 年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表 2 利用者の平均介護度

年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
平均介護度	2.6	1.9	2.1	2.2	2.1

(要支援 1、2 を除く。)

(2) 介護保険事業収益と人件費

(単位：円、%)

年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度	H33 年度
介護保険事業収益 (A)	38,844,497	37,337,239	—	—	—
人件費 (B)	34,513,846	28,973,112	—	—	—
介護保険事業収益と 人件費の割合(B/A)	88.9	77.6	—	—	—

(3) 事故件数

事故	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
転倒	0	0	—	—	—
転落	0	1	—	—	—
その他	5	5	—	—	—
(骨折)	(1)	(0)	—	—	—
外傷	1	3	—	—	—
薬関係	1	3	—	—	—
食事関係	0	3	—	—	—
離設	0	2	—	—	—
医療関係	0	0	—	—	—
合計	7	17	—	—	—
市町村報告	1	0	—	—	—
インシデント	1	0	—	—	—

9 照古苑ひまわりホームデイサービス (通所介護)

定員：25人

利用者の意思及び人格を尊重し、利用者本位のサービス提供に努めました。

リハビリ体制は、常勤の理学療法士1名により、利用者個々の状態に合わせた機能向上訓練、看護師による生活動作訓練に分けて提供しています。今後も利用者一人一人のニーズを捉え満足していただけるサービスを提供できるよう職員の質の向上を図ってまいります。

(1) 利用状況

デイサービスの年間利用者数は、僅かながら昨年度より1日あたり0.3人減少し、1日平均利用者数は17.3人でした。

昨年度は、総合事業の通所サービスAとの施設併用上の危険性及び利用者数の低迷もあり、1年限りで総合事業を廃止し、通所介護として生活機能訓練による利用者の心身機能の維持向上に努めましたが、利用者増につなげることができませんでした。

利用者の平均要介護度は、昨年度より0.3ポイント上がり1.9でした。総合事業との棲み分けが進んだことが要因と考えられ、この傾向は今後も続くものと考えます。

表1 1日当たりの平均利用人数 単位：人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
H30年度	14.6	14.7	15.3	17.7	17.2	17.6	17.0	17.8	17.0	16.8	17.5	18.1	17.3
H29年度	15.8	16.3	16.5	17.9	17.8	17.4	19.2	19.8	18.5	16.8	18.0	17.0	17.6
H28年度	11.6	12.7	12.4	13.4	13.9	13.7	14.0	13.9	14.1	14.2	16.2	16.3	13.9
H27年度	11.2	11.5	10.1	9.6	10.8	11.1	11.7	11.8	11.3	10.2	10.6	10.5	10.9
H26年度	3.5	4.1	4.8	4.9	4.9	5.5	6.6	7.8	7.8	7.3	9.2	10.5	6.4

表2 利用者の平均介護度

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
平均介護度	1.8	1.8	1.5	1.6	1.9

(2) 介護保険事業収益と人件費

(単位：円、%)

年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
介護保険事業収益 (A)	46,226,279	47,881,943	—	—	—
人件費 (B)	34,071,631	38,321,316	—	—	—
介護保険事業収益と 人件費の割合(B/A)	73.7	80.0	—	—	—

(3) 事故件数

事 故	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
転 倒	1	0	—	—	—
転 落	0	0	—	—	—
その他	1	8	—	—	—
(骨折)	(0)	(0)	—	—	—
外傷	0	1	—	—	—
薬関係	1	0	—	—	—
食事関係	0	0	—	—	—
離設	0	0	—	—	—
医療関係	0	1	—	—	—
合計	3	10	—	—	—
市町村報告	0	7	—	—	—
インシデント	1	0	—	—	—

Ⅲ たんぽぽ事業報告

1 たんぽぽ保育園

(1) 保育所の運営

① 定員 110人

② 年齢別・月別利用児童数

(各月初日現在)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	6	6	7	9	12	12	12	12	13	13	15	15	132
1歳児	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	264
2歳児	23	23	23	23	23	23	23	22	23	23	23	23	275
3歳児	19	19	19	20	20	20	20	20	20	20	20	20	237
4歳児	25	25	25	25	24	24	24	24	24	24	24	24	292
5歳児	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
H30年度	116	116	117	120	122	122	122	121	123	123	125	125	1,452
H29年度	113	113	113	114	116	116	116	114	116	116	118	118	1,383

(2) 職員

① 職員数

年度	4月1日時点		3月31日時点	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員

平成30年度	13人	18人	13人	17人
平成29年度	14人	14人	14人	13人
平成28年度	13人	14人	13人	14人
平成27年度	13人	13人	13人	13人

② 職員配置

(H31.3.31)

職名	正規職員	非正規職員	計
園長	1	0	1人
副園長	1	0	1人
主任保育士	1	0	1人
副主任保育士	2	0	2人
保育士	6	12	18人
保育助手	0	1	1人
看護師	0	1	1人
栄養士	1	0	1人
調理員	1	2	3人
事務員	1	0	1人

(3) 行事等の開催

主な行事等の開催状況

実施年月日		行事名
4月	7日	入園式
	17日	園医健康診断
	21日	お見知り遠足
5月	26日	未満児保育参加・以上児保育参観
	24日	ふれあい動物園
6月	8日	歯科検診
	15日	花園小一年生授業参観・幼保連携会議
	30日	奉仕作業（以上児）
7月	3日	花園小学校七夕まつり交流会（台風接近の為中止）
	6日	七夕まつり
	9日	プール開き
	13日	年長児お泊まり保育（13・14日）
8月	2日	花園小学校連絡会（保育参観後懇談会）
	3日	心療病院合同盆踊り
	6日	カスペル人形劇観覧（一寸法師）
9月	8日	奉仕作業（未満児）

	20日	園児検尿検査
10月	6日	運動会
	13日	照古苑祭年長児参加
	16日	園医健康診断
	23日	ハロウィンパーティ
	27日	心療病院文化祭（以上児参加）
	29日	花園小学校花植交流
11月	6日	花園小学校おもちゃ遊び交流会
	13日	年長児車両基地見学
	28日	就学児検診
12月	1日	発表会
	13日	餅つき交流会
	20日	クリスマス会
1月	10日	餅やき
	19日	初釜
2月	1日	節分
	4日	パレット人形劇観覧（ヘンゼルとグレーテル）
	9日	未満児保育参加・以上児保育参
3月	1日	おひなまつり
	8日	お別れ遠足
	16日	31年度入園説明会
	18日	花園小学校連絡会
	23日	卒園式

※毎月英語教室（3・4・5才児）

※〃 体育教室（4・5才児）

※5月～1月茶の湯（5才児）

（4）地域連携

地域との関わりの状況

実施月	地域との関わり
4月	子育て支援開催
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問
5月	子育て支援開催（ふれあい動物園）
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問・ふれあい動物園に招待
6月	子育て支援開催
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問
7月	子育て支援開催
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問
8月	心療病院合同盆踊り
	子育て支援（親子人形劇観覧）

	ぬくもり・ひまわりホーム訪問（手足口病流行の為中止）
9月	子育て支援開催
	鶴城中学校より3名体験実習
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問（インフルエンザ流行の為中止）
	運動会リハーサルにぬくもり・ひまわりホームの方をお招きする
10月	子育て支援開催
	照古苑祭へ年長児参観（運動会で踊った曲を披露）
	心療病院文化祭に出演
	県立小川工業高等学校（建築）インターシップ
11月	子育て支援開催
	発表会リハーサルにぬくもり・ひまわりさんご招待
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問
12月	初釜練習時ぬくもり・ひまわりご招待（インフルエンザ流行の為中止）
	子育て支援開催
	餅つき 地域老人会ご招待
1月	ぬくもり・ひまわりホームの方初釜のリハーサルにご招待
	子育て支援開催
2月	子育て支援親子人形劇観覧ご招待
	ぬくもり・ひまわり訪問（感染性胃腸炎流行の為中止）
3月	子育て支援開催
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問

(5) 災害対策

避難訓練の状況

実施月	避難訓練		
4月	災害時の説明・ベルの音実施	10月	火災避難訓練・消防訓練（通報・消火）
5月	火災避難訓練	11月	地震・火災避難訓練
6月	火災避難訓練・不審者訓練	12月	火災避難訓練
7月	地震避難訓練	1月	火災避難訓練
8月	火災避難訓練	2月	地震避難訓練
9月	地震避難訓練	3月	地震・津波避難訓練

(6) 人材育成

職員個人のスキルアップ及び保育園全体の組織力向上等を目的として、園内研修を実施するとともに、各種園外での研修に積極的に参加しました。

① 園内研修の状況

月 日	園 内 研 修 名	参加人数
3月	全職員 ・ 保育課程・危機管理マニュアル	30名
毎月	運営委員会	各12名
年3回	総括 ・ 課題を持つ子どもについて	各クラス
年10回	新規採用保育士指導（主任保育士）	2名
年6回 5.6.7.9.11.12月	わらべうた勉強会 講師 森永先生（以上児・未満児）	各20名
年6回 5.6.7.9.10.11月	福岡コダーイ芸術教育研究所より来園 講師 川内先生勉強会（以上児・未満児別）	各10名 ～11名
6月	福岡市 春日セミナー報告会 不審者訓練（クラス人数報告）	12名 10名
7月	宇城消防署員より救急蘇生法を受講（2班） 福岡コダーイ教育研究所報告会	30名 9名
9月	各クラス毎気になる子・各年齢の遊びについて 幼保小中連携セミナー報告 若竹保育園公開保育報告 さすまた訓練（さすまたの使い方・自己防衛）	各7名 12名 12名 15名
10月	のぞみ保育園公開保育報告 若竹保育園公開保育報告	12名 12名

② 園外研修の状況

実施月	園 外 研 修 名	参加人数
年5回	宇土市保育連盟年齢別研修会 （園長・主任・給食・年齢別リーダー各6名）	9名
年6回	福岡芸術教育研究所 園長・主任研修会	2名
5月10月	宇土市保育連盟総会時 講演会	13名
年3回	熊本県社会福祉協議会主催研修会	2名
年2回	熊本県保育協会主催研修会	3名
年5回	熊本県保育協議会	5名
6月	福岡市 春日セミナー研修6 / 2～6 / 3	4名
年5回	若竹保育園公開保育見学研修 のぞみ保育園公開保育見学研修 若竹保育園公開保育見学研修 さくらんぼ保育園施設見学 敬愛保育園公開保育見学研修	1名 1名 1名 1名 3名
年22回	熊本県（総合健康推進財団）キャリアアップ研修 ・乳児保育 ・保健衛生 ・障害児保育 ・食育アレルギー対応	5名

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育実践 ・ 幼児保育 ・ マネジメント 	
年 6 回	熊本県（教育委員会） 新規採用保育士研修 園長等研修会 主任研修会 宇城管内幼保小中連携セミナー 保育所実習指導者研修 食育給食担当者研修	1 名 2 名 1 名 1 名 1 名 1 名

(7) 短時間保育及び延長保育

① 短時間保育の状況

- ・ 保護者の短時間就労
- ・ 短時間保育 午前9時～17時の預かり
- ・ 30年度短時間保育利用者数総数・・・710名

(8) 延長保育の状況

- ・ 開所時間 午前7時～午後7時
- ・ 保育時間 午前7時～午後6時
- ・ 延長保育 午後6時～午後7時
- ・ 30年度延長保育利用者総数 …… 2351名

2 五色山学童クラブ

(1) 学童クラブの運営

① 定員 50人

② 学年別・月別利用児童数

(各月初日現在)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1年生	12	12	12	14	14	13	13	13	13	13	13	13	155
2年生	18	18	18	18	18	18	17	17	16	16	15	15	204
3年生	10	10	10	10	10	8	8	7	7	7	7	7	101
4年生	4	4	4	3	3	2	2	1	1	1	1	1	27
5年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H30年度	44	44	44	45	45	41	40	38	37	37	36	36	487
H29年度	54	54	54	54	54	52	50	48	48	46	46	44	604

(2) 職員

指導員数

年度	4月1日時点		3月31日時点	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
平成30年度		4人		4人
平成29年度		4人		4人
平成28年度		4人		4人
平成27年度		4人		4人

(3) 行事等の開催

① 主な行事等の開催状況

実施年月日	行事・遊び	
4月	7日	入所式
	21日	お見知り遠足
5月	26日	ふれあい動物園
7月	18日	夏休み前保護者会懇談会
	24日	うちわ制作
8月	3日	心療病院合同盆踊り
	6日	カスペル人形劇観覧（一寸法師）
	8日	民生委員さんとの交流会（お手玉・あやとり等）
	10日	産交バスより・お楽しみビンゴ大会
	20日	絵手紙教室
	23日	水のお話会
10月	6日	たんぽぽ保育園運動会参加
	22日	ハロウィンパーティー
12月	25日	クリスマス会 ・読み聞かせ
1月	4日	松山神社初詣
3月	15日	学童入所説明会
	23日	退所式
	28日	お別れ会（カレー会）

② その他の行事

ボランティアの方の読み聞かせ

4月・5月・6月・7月

火災避難訓練	8月（1回）
英語教室	4月・5月・6月・7月・8月・9月・10月・11月・1月・2月

茶の湯	5月・6月・7月・9月・10月・3月
-----	--------------------

IV 事業報告書の附属明細書

定款第34条第1項第2号に規定する事業報告書の附属明細書は、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しないこととしました。